



真夏のイベントにボランティアさん集合！



蒼天ボランティアグループ

目次

表紙 真夏のイベントにボランティアさん集合！

P2 台風一過の大そうめん流し！ 蒼天ボランティアグループ
お化け屋敷ボランティア！？ あずま憩いの場

P3 いなのすけ広場 フードパントリー
新利根地区でこども食堂 OPEN！ ハチドリ
お話し相手になります！ 傾聴ボランティアうさぎさん

P4 講演会 「災害 私たちにできること ～備え・守り・助け合い～」
和太鼓演奏披露 紅太鼓
ボランティアセンターのホームページリニューアル！



台風一過の大そうめん流し！ 蒼天ボランティアグループ

8月2日（土）、前夜に台風が接近し、開催が危ぶまれた「みんなの学校いなしき」での大そうめん流し大会は、開始時間を1時間遅らせてスタートすることができました。

朝から蒼天ボランティアグループをはじめ、あずま憩いの場、いなしきでなんかやっちゃう会や、伊佐部老人クラブの方々など、多数のボランティア有志が超ロング流し台の設置を手伝いました。

生の竹を割った流し台はそれぞれ幅や曲がり具合が違うので、建物の2階から皆さんが食べる所まで、何本もつなげてうまく流れるようにするには調整が大変な様子でした。

建物内の調理室では、稲敷市更生保護女性会、食生活改善推進協議会（食会）の皆さんが、大量のそうめんをひっきりなしに茹で、他にもサラダやフライドポテトなどのおつまみ作りもして大忙しでした。

会場には大勢の子供たちと保護者、近隣の方々が集まっており、そうめん流しがスタートすると、2階の窓から流れてくるそうめんやミニトマトをキャッチしてはほおばっていました。

台風後の猛暑にも負けず、子供たちは元気に手づくりの竹の水鉄砲やシャボン玉で遊び、最後にはスイカ割りをして、楽しい夏休みの一日となりました。

顔を真っ赤にして汗だくで会場を盛り上げたスタッフ、ボランティアさん、地元の皆さん、お疲れ様でした。



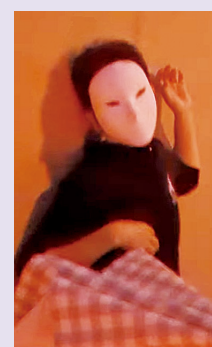
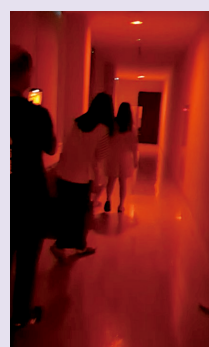
お化け屋敷ボランティア！？ あずま憩いの場

8月17日（日）、あずま生涯学習センターで「あそびば」という夏祭りが開催され、あずま憩いの場は受付と目玉イベントのお化け屋敷を手伝いました。

薄暗い通路や控室、大ホールのあちこちにお化けに扮装したスタッフが待ち構えていて、参加者を怖がらせていました。



他にも手作り品のワークショップやボードゲーム、コマ回し、けん玉、輪投げなど遊びがいっぱい。食会出店のかき氷と綿あめも大人気でした。蒼天ボランティアグループ、老人クラブ東支部、ハーモニカクラブ、個人参加など、たくさんのボランティアが協力し、会場のあちこちで実演したり、やり方やコツを教えたりして、大人も子供も一緒に楽しんでいました。



いのすけ広場 フードパントリー

NPO 法人稲四季の会は毎月第2金曜日午後5時～6時に江戸崎笑遊館にて、「いのすけ広場 フードパントリー」を開催しています。18歳以下のお子さんを扶養している、今ちょっとしんどいシングル世帯、その他何かしら事情があって困っている世帯が対象です。

8月は21世帯の申込みがあり、市内の企業、店舗、個人の方から寄せられたお弁当や食材、日用品が配られました。品物の仕分けや配布には、江戸崎更生保護女性会のメンバーも協力しています。ご利用はLINEからの登録、申込制となっています。お問い合わせもこちらからどうぞ。ご寄付は江戸崎笑遊館で随時受け付けていますので、皆様のご支援をお待ちしています。



新団体

新利根地区で子ども食堂 OPEN! ハチドリ

9月13日（土）、新利根公民館にて第一回「ハチドリ子ども食堂」を開催いたしました。当日は多くの方に足を運んでいただき、子どもたちの元気な声や可愛い笑顔に癒される、温かな時間となりました。

また、デイサービスの方々にもご参加いただき、世代を超えて食卓を囲むことで、地域のつながりを改めて感じる事ができました。子どもたちがきれいに完食してくれたお皿を見て、スタッフ一同とても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

今回の経験を励みに、今後も子どもたちが安心して集える居場所づくりを続けてまいります。

今回は11月8日の予定です。皆さんの参加をお待ちしています。（代表 池延さん）



お話相手になります！ 傾聴ボランティアうさぎさん

一人暮らしや、家族がいても仕事で外出し、ほとんど会話ができないというようなご家庭が増えています。一日中テレビばかり見ていないで「誰かと話をしたい」という方がいましたらお声をかけてください。

傾聴ボランティアは2人組で希望者の自宅に訪問して、1時間程度お話相手をする活動をしています。日時はお相談に応じます。気軽におしゃべりをして、楽しい時間を過ごしましょう！（お問合せ 稲敷市ボランティアセンター）



講演会

災害 私たちにできること ～備え・守り・助け合い～

9月12日（金）、江戸崎中央公民館にて稲敷市ボランティア連絡協議会主催の講演会が開催されました。講師はつくばみらい市光雲寺住職、茨城県防災活動アドバイザーの米澤智秀氏。

僧侶でありながらボランティア活動を始めたきっかけや、防災のプロとして全国の被災地で復興支援を行う中での様々な体験談や、被災者とのエピソードを語られました。災害が起きたときに少しでも多くの命を救うには、日頃からの地域住民の繋がりが大切であることを強調されていました。

参加者からは、「被災現場のスライドを見ながらお話を聞いて、災害の恐ろしさを実感した」「各地で災害が頻発しており、他人ごとではないと感じた」「日常の繋がりが最大の防災という言葉に心にとめ、近所付き合いを大事にしていきたい」などの声が聞かれました。



和太鼓演奏披露！ 紅太鼓

ボランティア連絡協議会講演会の開会式で、ボランティア団体紅太鼓が演奏を披露しました。

紅太鼓は約12年前に結成された創作和太鼓サークルで、令和4年にボランティア団体として登録し、地域行事や福祉施設で演奏披露したり、老人クラブのスポーツ大会の手伝いをしています。

一時メンバーが少なくなりましたが、令和6年から新メンバーが加わり、新利根公民館で練習に励んでいます。力いっぱい太鼓をたたくことで、日々のストレス発散と、運動不足解消になっているそうです。

当日は新メンバーによる「祝い太鼓」、「カッパ」とオリジナル曲「風」、「紅波（なみ）」を披露し、会場には力強い太鼓の音が響き渡りました。



ボランティアセンターのホームページリニューアル！

稲敷市社会福祉協議会のホームページがリニューアルされました。

ボランティアセンターのページもありますのでご覧ください。

<https://www.inasiki-shakyo.or.jp/volunteer-center/>

各種申請書もダウンロードできます。

（※申請書提出は持参または郵送で）

